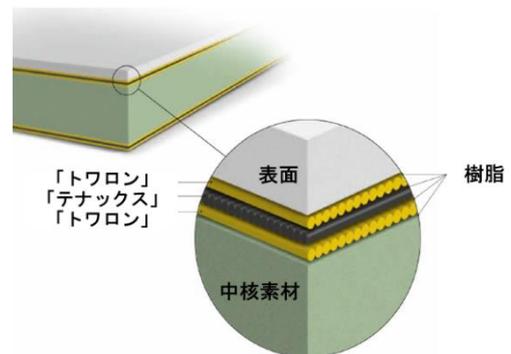


2022年9月30日

アラミド繊維と炭素繊維を使用した美術館が開館 10 周年！

帝人グループは、企業理念のひとつに「社会と共に成長します」を掲げ、芸術・文化活動を支援しています。その一環として、アラミド事業の重要拠点であるオランダでは、地域社会への貢献としてアムステルダム市立近代美術館の主要スポンサーを務めており、当社のパラ系アラミド繊維「トワロン」と炭素繊維「テナックス」を用いて建築された同美術館の新館が、このたび開館 10 周年を迎えました。

新館は、外観のデザインから「バスタブ（浴槽）」の愛称で親しまれており、滑らかで継ぎ目のない表面が特長です。そのデザインの関係上、複数のパネルを繋ぎ合わせた非常に大きな建築材料を使用する必要があり、寒暖差が大きいオランダでは熱膨張や建築部材の経年による歪みが懸念されるため、一般的な建築材料では実現が難しいとされていました。こうした中、熱膨張率が小さく強度に優れた「トワロン」と「テナックス」のシートを樹脂でコーティングし、建築材料の中核となる素材の両側を挟んだ複合材料製パネルを使用することで、特徴的なデザインの実現に成功しました。



「トワロン」と「テナックス」を用いた複合材料製パネルの断面図

新館には、この複合材料製パネルを 185 枚繋ぎ合わせ、全長約 100m、幅約 25m という世界最大規模の建築材料を用いています。「トワロン」と「テナックス」を使用したことにより、2012 年の開館から現在に至るまで、メンテナンスフリーを実現しており、美術館の運営コストの削減となるとともに、持続可能な建築物であることが証明されました。また、そのデザインを活かし、外装へ映像作品を投影するなど、市民をはじめ世界中から訪れる来館者を驚かせています。

帝人は、これからも、地域社会への貢献活動を続けると共に、社会の持続的発展に貢献できる製品・サービスを提供していきます。



新館の外装へ映像を投影した様子

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL: (03) 3506-4055